

活動成果報告書

令和4年度（第26回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ 難病のある方の就労支援について ～働きたいと思っている人が働けるために～	
グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名) 相模原市 健康福祉局 保健衛生部 疾病対策課 代表者：鈴木 陽子	【相模原市難病啓発用ロゴモチーフ】 
勤務先：相模原市役所 所 属：健康福祉局 保健衛生部 疾病対策課 所在地：〒252-5277 神奈川県相模原市中央区富士見6-1-1 TEL：042-769-8324 FAX：042-750-3066	

◇活動方針

難病患者の就労についての課題は、病状に変化がある、障害者手帳の取得には至らない程度の病状、職場で適切な配慮が受けられない、病気の開示に抵抗があるなど、多岐にわたる。働きたいと思っている難病患者が、適切な治療を継続しながら職場の配慮を受け、就職や就労の継続ができるように必要な支援を実施する。

◇活動内容とその成果

<活動内容について>

難病対策地域協議会の中に「就労部会」を設置し、関係者で協議を行い以下のとおり取り組んだ。

(1) 現状分析

- ①相模原市の難病患者についてのデータ整理、現状分析
- ②難病患者の就労実態や就労に対するニーズを把握するためアンケート調査を実施
- ③関係機関が行なっている就労支援策の整理、情報共有

(2) 難病患者への還元

- ①就労に関する講演会の実施
- ②アンケート結果を踏まえた難病患者向け就労リーフレットの作成
- ③相模原市出張就労相談の開催
- ④関係機関との支援ネットワークの構築、連携した相談対応

(3) 難病に関する情報の普及啓発、理解促進

- ①雇用主へ向けた難病患者就労リーフレットの作成、情報発信
- ②一般の方へ向けた難病に関する情報発信

活動成果報告書

<活動成果について>

①令和元年度にアンケート調査を実施。以下の通り難病患者の就労実態について把握ができた。

- ・対象者は特定医療費（指定難病）医療受給者 4,758 人。うち回答率 69.4%（3,303 人）。

回答内訳：

- ・就労中 43%、休職・就職活動中 10%、就労希望なし 47%（就労希望なしの方の理由は「高齢のため」というものが最も多く、次いで「体力に自信がないため」というものが多い）。
- ・就労形態は正社員が 51%と最も多く、半数は自営、非正規雇用。
- ・病気の開示は 80%の者が行っている。開示していない、したくないという者も一定数いる。
- ・職場で支援が受けられている 37%、支援を受けられていない 15%、支援不要 48%。
- ・希望はあるが働いていない人が 10%程おり、地域の支援機関相談窓口の認知度は 50%以下であった。
- ・働くにあたって望む声は「症状に変化があることを理解してほしい」「通院や急な体調変化に対する休みを取りやすくしてほしい」「フレックスタイム制やテレワークを取り入れて欲しい」「働けない時の生活保障が心配」「難病に対する差別や偏見をなくしてほしい」等であった。

②上記結果を踏まえ患者向け就労リーフレットを作成し、更新の特定医療費（指定難病）医療受給者証送付時に同封。令和 3 年度かながわ難病・相談支援センターの市内在住患者の相談割合は 6%から 17%へ増加した。

③雇用主へ向けた難病の啓発のため、雇用主向け就労リーフレットを作成し、庁内既存事業（健康増進課の労働安全大会）や商工会議所、産業振興財団等関係窓口にて配架。市ホームページ産業・ビジネス内の「事業者向け情報」に難病患者の就労支援ページへのリンク（厚生労働省ホームページ）と雇用主向けリーフレット PDF データを掲載。また、市内大手企業等（計 42 企業）との情報交換会にて患者向け、雇用主向け就労リーフレットを配布し情報提供を行った。

④関係機関と顔の見える関係が構築でき、必要時リーフレットを活用しながら他の相談窓口を紹介できるようになった。就職相談をきっかけに、治療や療養の相談へつないだり、医療費助成の申請や療養の相談をきっかけに具体的な就職先の相談へつなげること等ができるようになった。患者の包括的支援につながっている。

⑤令和 3 年 2 月にオンライン講演会「難病を持って働くということ～治療と仕事の両立について産業医の立場から～」を実施。視聴回数は合計 355 回。

⑥令和 3 年 11 月相模原市出張就労相談を開催。申し込み者数 1 件。難病患者就職サポーター（以下、難サポという）による相談対応を行った。

⑦2 月最終日の Rare Disease Day（RDD：世界希少・難治性疾患の日）に合わせた難病の啓発

- ・3 図書館にて展示イベントを実施。（資料配架、関係書籍紹介、返却期限票裏面を活用した PR）
- ・ウェルネスさがみはら、あじさい会館にて展示イベントを実施し、資料を配架。
- ・難病周知、就労支援のポスター 2 種を作成し、庁内関係部署にて掲載。
- ・ポスターデータを相模大野駅前パブリックインフォメーションにて配信。
- ・中外製薬は難病に関する疾患啓発活動を行っており、資料提供の協力を受けた。

⑧これから就職活動をする大学生やキャリアセンターに向けて、ポスター、就労リーフレットを配架。大学ポータルサイトへの上記 PDF データ掲載を依頼。（包括連携協定大学 計 12 大学）

活動成果報告書

◇今後の計画

- ・アクセスの良い場所で定期的に出張就労相談会を開催。
- ・かながわ難病・相談支援センターや難サポと連携し、幅広い対象へ向けた啓発の実施。
- ・難病患者の雇用枠確保に向けた取り組みの実施。相模原市雇用促進対策検討会議への参加。

<特にPRしたいこと>

- ・RDDの前後の期間で、商業施設の屋外大型ビジョンやフードコート内デジタルサイネージ、神奈中バス・庁内関係部署のデジタルサイネージ、京王線橋本駅等での難病に関する動画広告を配信予定。
- ・広報さがみはら令和5年2月15日号での難病特集記事を掲載予定。
- ・難病の啓発に関するロゴモチーフを作成し、様々な媒体で活用しながら積極的に啓発活動を行っていく。

【令和3年度患者向けリーフレット】



【難病周知ポスター】



【令和4年度患者向けリーフレット】



【令和4年度雇用主向けリーフレット】



【動画広告（参考：画像一部）】



【令和4年度難病ポスター】 【就労支援ポスター】

